

27年度決算について

平成28年11月 議会報告会資料

芦屋市議会

➤ 市の決算とは

➤ 決算の審査の流れと結果

➤ 27年度の決算のポイント

➤ 27年度の主な新規事業は

➤ まとめ

市の決算の意義と役割①

市の決算とは？

一会計年度の歳入と歳出の執行の結果を表示したものです

市の決算の意義と役割②

決算の役割とは？

市長が議会で成立した予算をどのように
執行したのか、説明責任を果たすためです。

予算の執行を通じて、自治体の行政目的が
効率的に達成されたのか、また今後の
行財政運営の指標として、将来の改善の
あり方を検討する役割があります。

決算の歳入

歳入には、おもに次のような項目があります。

- 市税
- 使用料
- 手数料
- 繰入金
- 国庫支出金
- 県支出金
- 地方交付税など

決算の歳出

歳出には、おもに次のような項目があります。

- **民生費** (障がい者福祉、老人福祉、児童福祉、生活保護など)
- **総務費** (戸籍住民基本台帳、徴税など)
- **公債費**
- **土木費** (道路橋梁、都市計画、住宅など)
- **教育費** (小中学校、幼稚園、社会教育、保健体育など)
- **衛生費** (保健衛生、清掃など)
- **消防費など**

➤市の決算とは

➤決算の審査の流れと結果

➤27年度の決算のポイント

➤27年度の主な新規事業は

➤まとめ

決算審査の流れ①

- 会計管理者は毎会計年度の閉鎖後3か月以内に決算、証書類を市長に提出しなければなりません
- 市長は、決算を監査委員の審査に付さなければなりません

決算審査の流れ②

- 市長は監査委員の審査に付した決算を監査委員の意見を付けて議会に提出し、認定に付さなければなりません
- 市議会では決算特別委員会で審査し、本会議で認定・不認定を議決しなければなりません



決算特別委員会

今回の決算審査の結果は

- 決算特別委員会（9月28日～30日）の審査結果は、賛成多数で認定すべきものとなりました
- 市議会本会議（10月5日）での採決は、同じく賛成多数で認定されました

➤市の決算とは

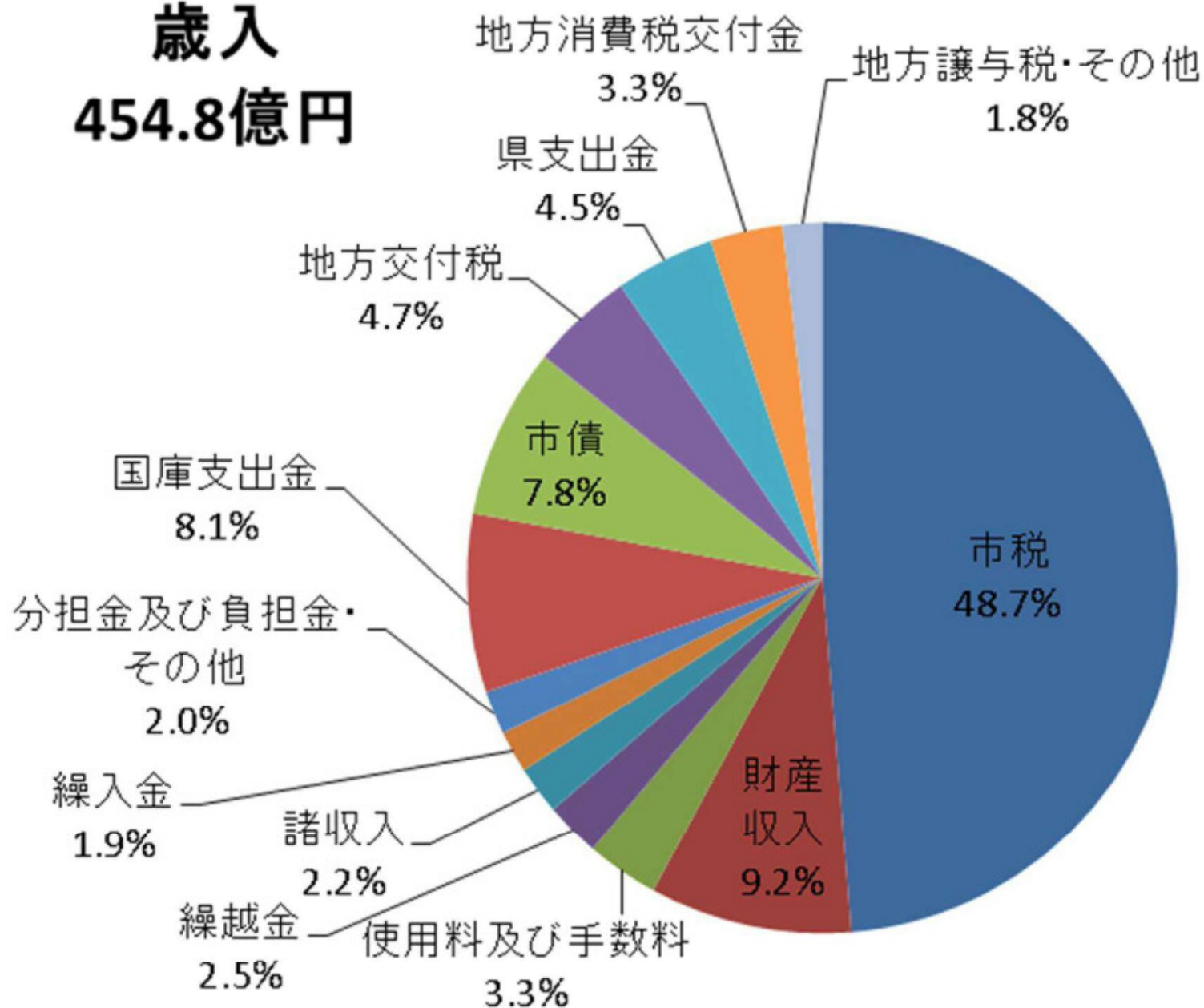
➤決算の審査の流れと結果

➤27年度の決算のポイント

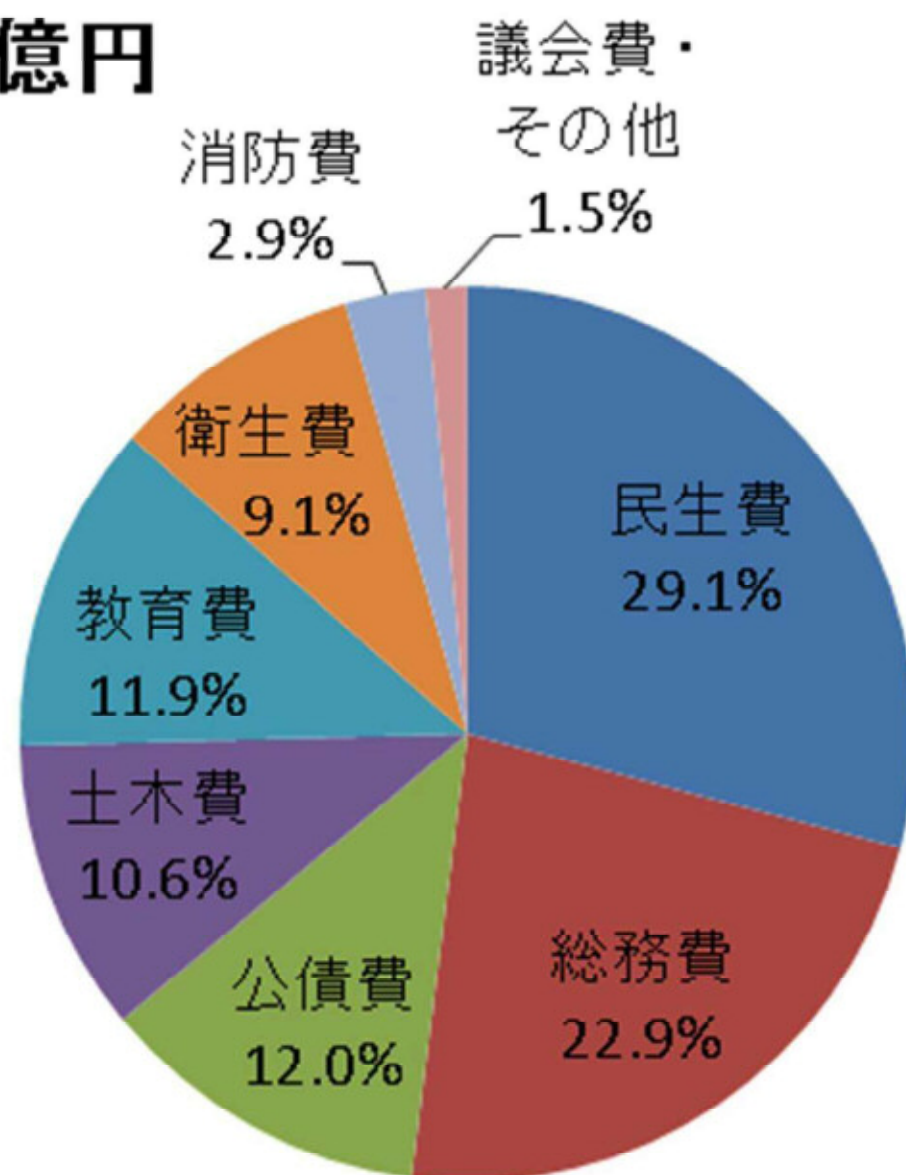
➤27年度の主な新規事業は

➤まとめ

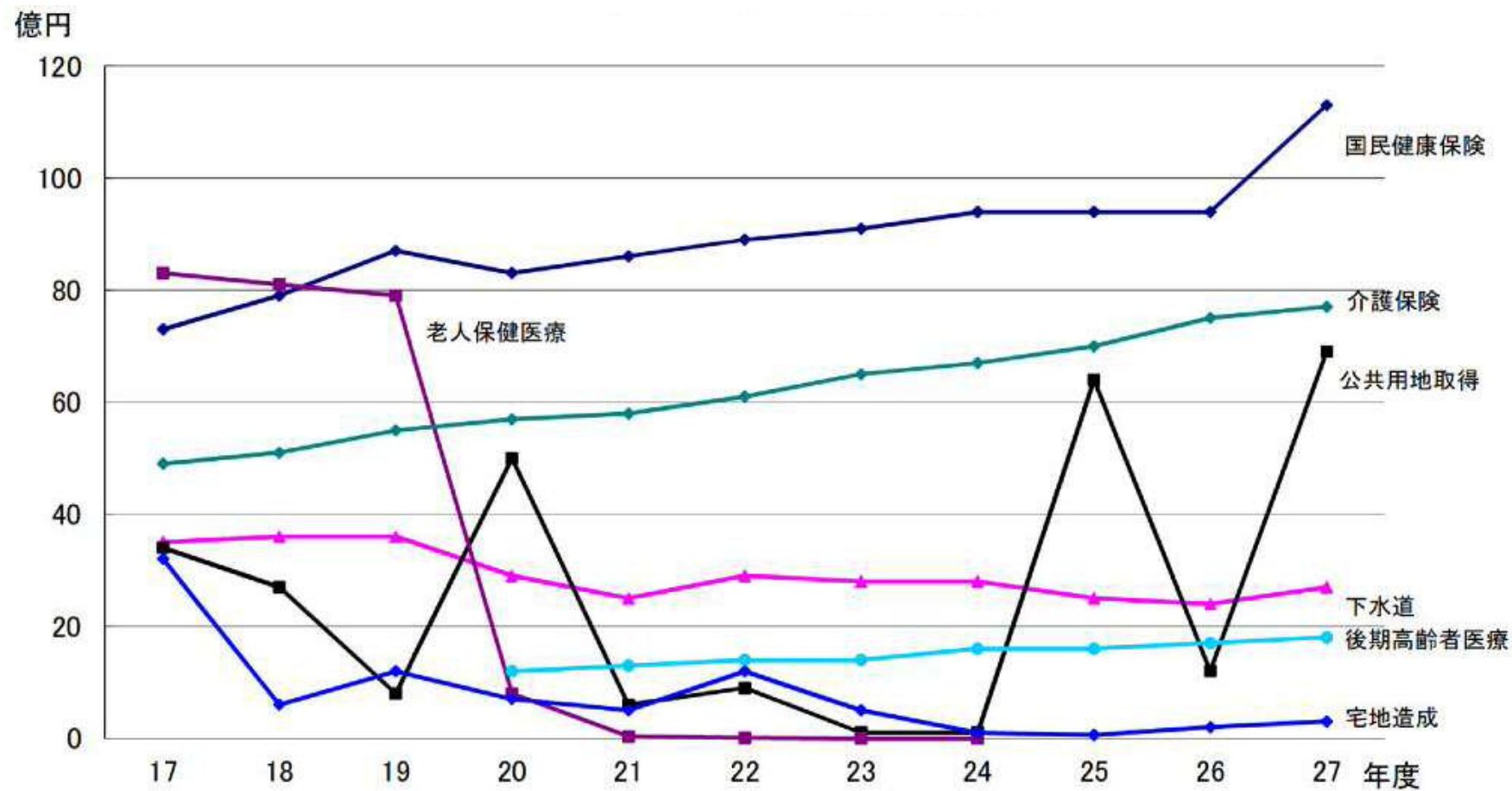
歳入 454.8億円



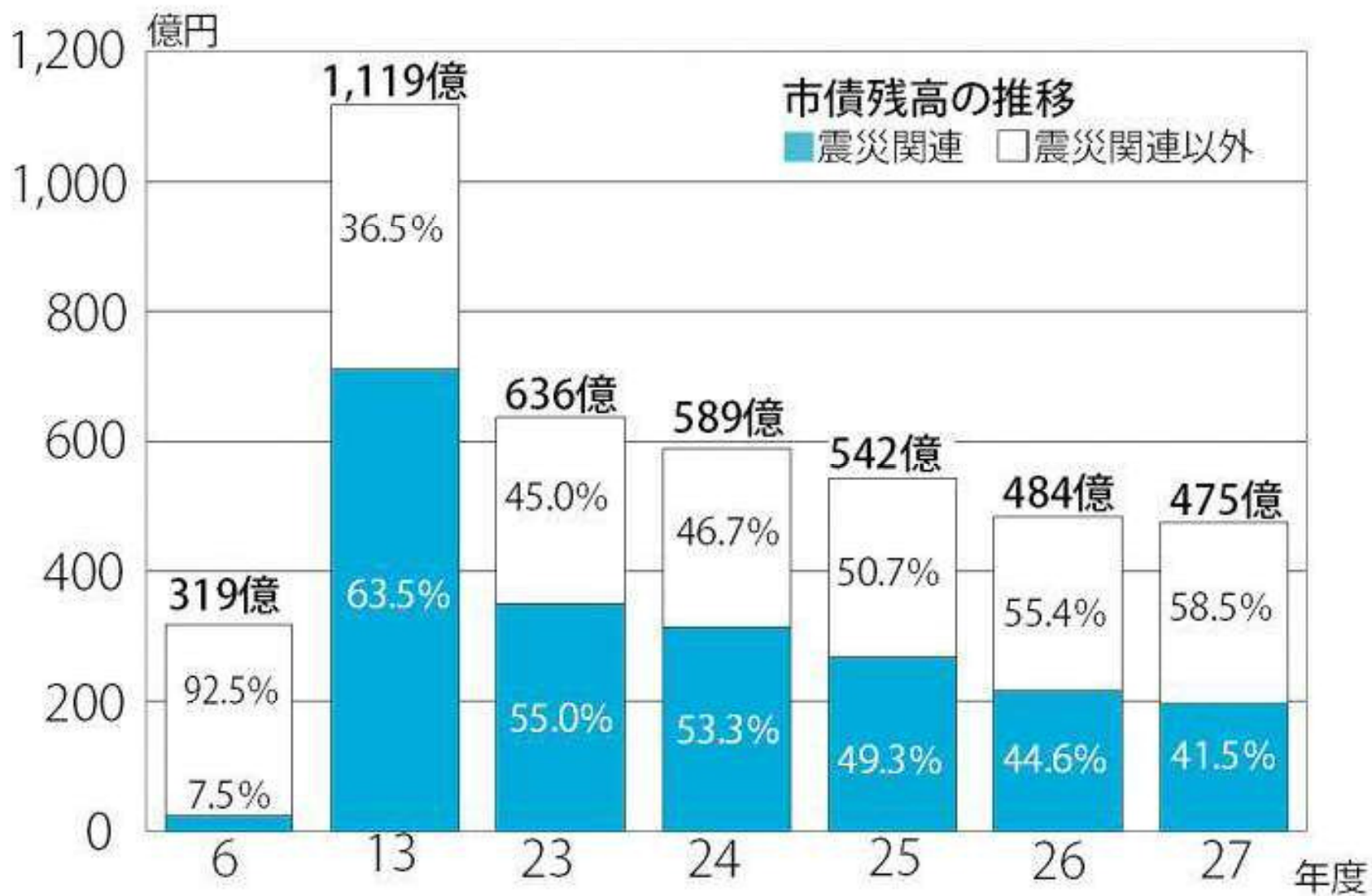
歳出 430.6億円



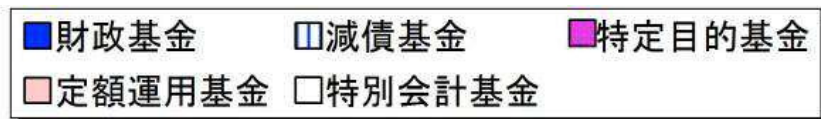
主な特別会計歳出決算額の推移



市債残高



基金の状況

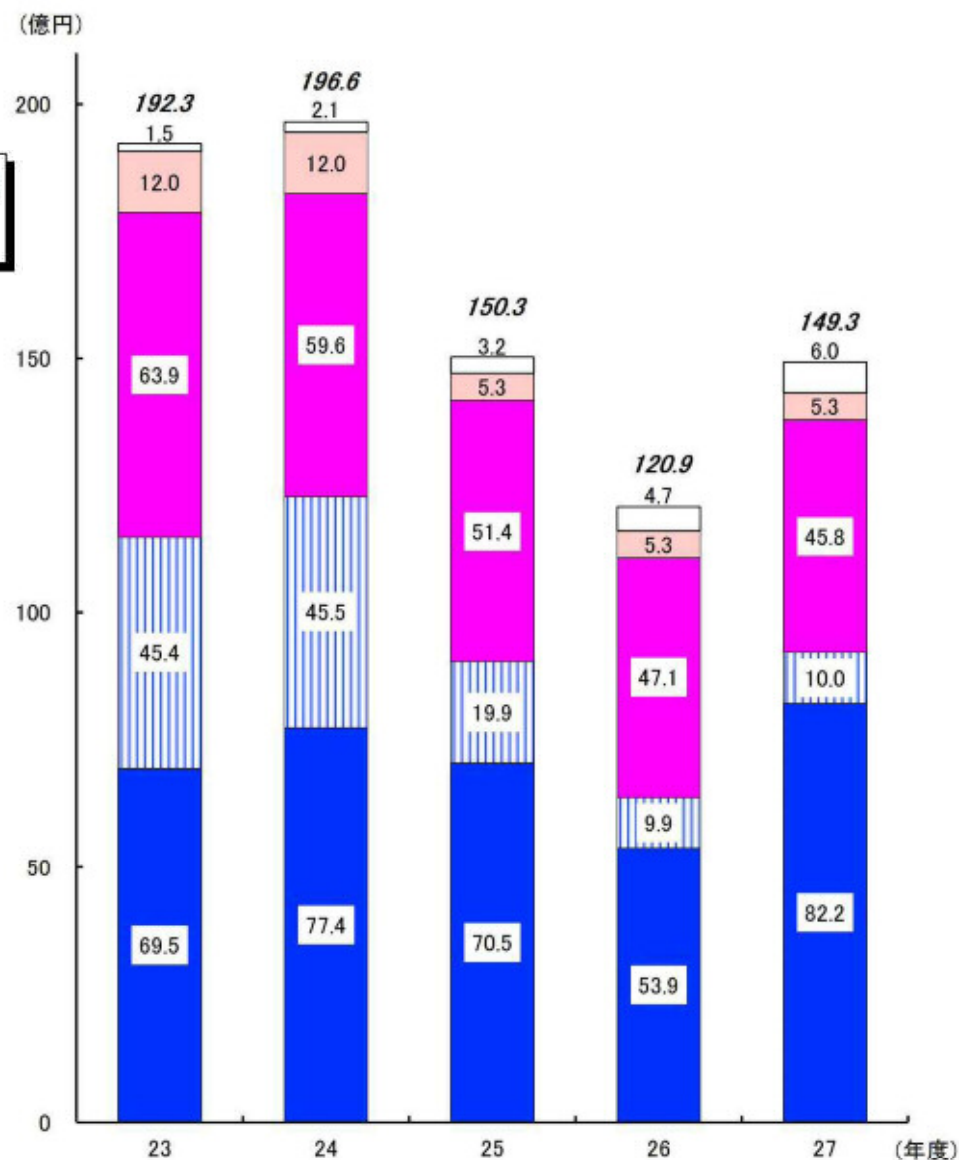


〈基金とは・・・〉

財政運営を計画的に行うため
特定の目的のために資金を維持し積
み立てるもの

〈27年度の事業に活用した基金〉

- ・公共施設等整備基金
- ・友愛基金
- ・緑化基金
- ・ボランティア基金
- ・1.17あしやフェニックス基金



- 市の決算とは
- 決算の審査の流れと結果
- 26年度の決算のポイントは
- 27年度の主な新規事業は
- まとめ

芦屋市創生総合戦略の策定



芦屋ふるさと寄附推進事業



子ども・子育て支援新制度



〈小規模保育事業の開始〉

小規模保育事業とは・・・

平成27年度4月より開始した新たな
保育事業の一形態です。

入所対象は0歳～2歳児。

◎あゆみSEIDO保育園(精道町)

◎蓮美幼児学園芦屋打出プリメール
(打出町)

◎HANA保育園(朝日ヶ丘町)

◎ニチイキッズ芦屋保育園(業平町)

こども通院医療費の無料化

●改正内容

現行制度（平成27年6月受診分まで）

区 分		外来の一部負担金 （自己負担額）
乳幼児等 医療	0歳～3歳誕生月の末日	0円（全額助成）
	3歳誕生月の翌月 ～小学校3年生	1日800円を限度に月2回まで
		0円（全額助成）
こども 医療	小学校4年生 ～中学校3年生	2割負担
		0円（全額助成）

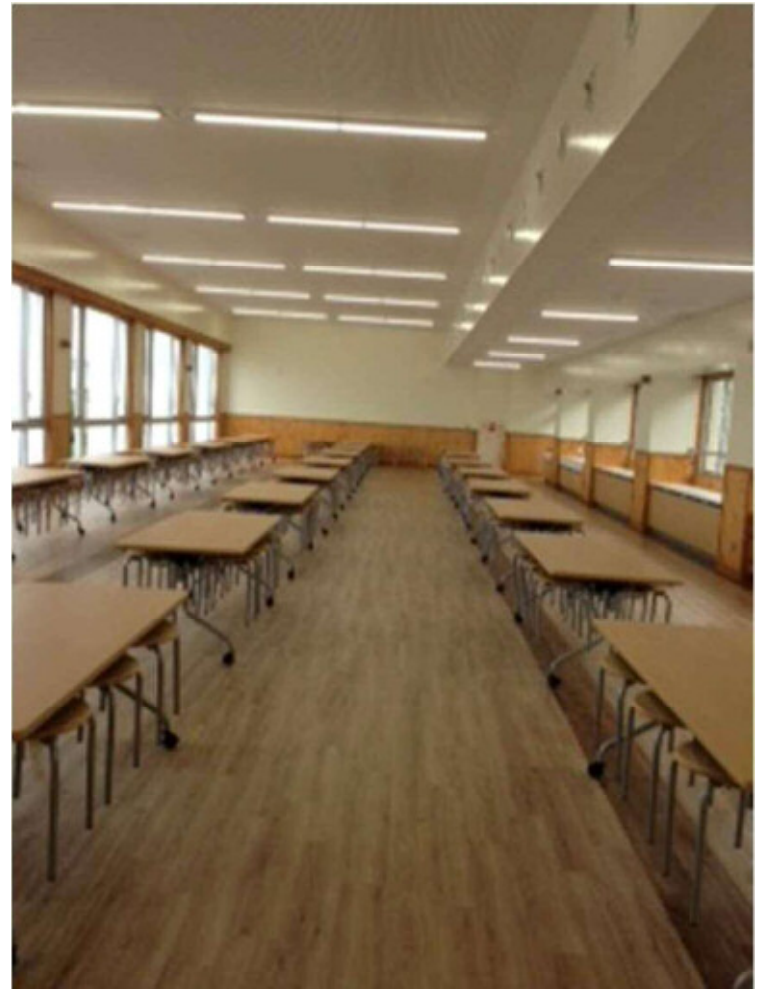


改正後（平成27年7月受診分から）

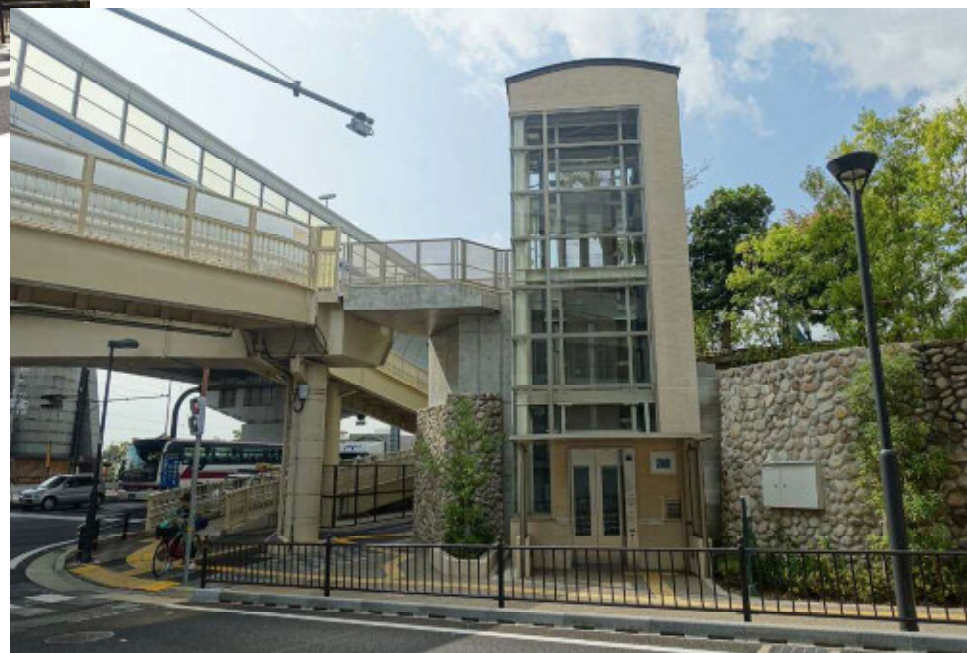
区分	外来の一部負担金 （自己負担額）
乳幼児等 医療	0円（全額助成）
こども 医療	

※全額助成の対象となるのは保険適用診療分のみとなります。

中学校給食が潮見中学でスタート



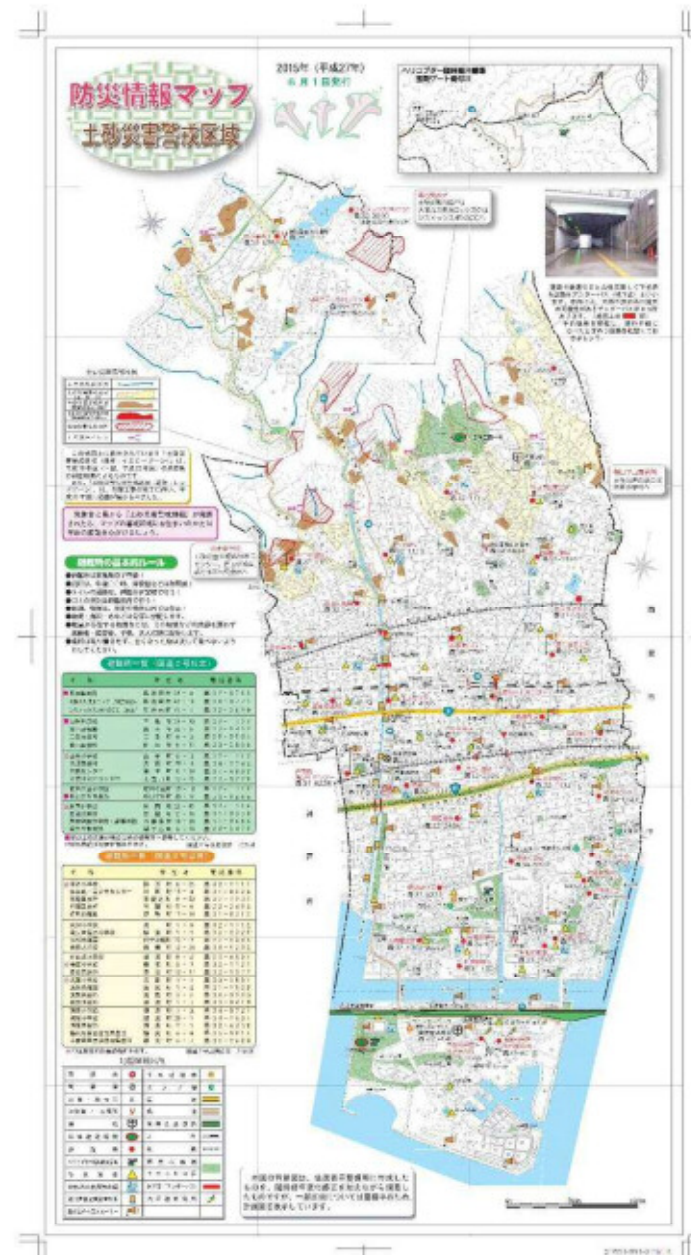
施設整備



体育館・青少年センター



防災対策



コンビニエンスストアへのAED設置



救急救命士特定行為

【気管挿管】



【薬剤投与】



- 市の決算とは
- 決算の審査の流れと結果
- 27年度の決算のポイントは
- 27年度の主な新規事業は
- まとめ

平成27年度決算のまとめ

- 各財政指数は、前年度に比べ一部を除いて改善しており、市税収入も4年連続で増加しています
- 市債残高は475億円となり、前年度より9億円減少しています
- 今後については、社会保障費の増加、公共施設の更新など、取り組むべき課題が山積しており、引き続き慎重な財政運営が必要になります